

令和7年度

# 入学者選拔要項



北海道公立大学法人

## 札幌医科大学

医学部・保健医療学部



## 建学の精神 理念 アドミッション・ポリシー

北海道が設立した北海道公立大学法人 札幌医科大学は、北海道の地域医療に貢献する医療人（医師、看護師、理学療法士、作業療法士）を育成するという北海道民の強い要請に応え、次のとおり建学の精神及び理念を掲げています。

### 【建学の精神】

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

### 【理 念】最高レベルの医科大学を目指します

人間性豊かな医療人の育成に努めます  
道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します  
国際的・先端的な研究を進めます

### 【アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)】

札幌医科大学では、カリキュラムに沿った学修によってディプロマ・ポリシーに示す水準を満たすことができる学生を求めています。そのため、高い基礎学力、文化や社会に関する基礎知識、基本的なコミュニケーション能力と協調性、自己教育の意欲と習慣を備えた学生を受け入れます。

### 【医学部】

#### 求める学生像

札幌医科大学医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的の研究を通じて世界に貢献できる研究者を育てます。我々は命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求めます。

#### 【知識・技能】

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人
2. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

#### 【思考力・判断力・表現力等の能力】

1. 様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人
2. 自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人
3. コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人

#### 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

1. 積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人
2. 他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

### 入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
  - 1) 医学を学修するための基礎学力：生命科学としての医学を学修するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。

2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。

## 2. 自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣

医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。

## 3. 自主的、協調的な態度と行動

チーム医療なしには医療は実践できません。医師は、医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。

## 4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず、自分の健康に心がけ、基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

## 入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入試枠	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	一般枠	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
	先進研修連携枠（ATOP-M）	大学入学共通テスト	◎	○	
		個別学力検査	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
学校推薦型選抜	先進研修連携枠（ATOP-M）	調査書等	◎	○	
		大学入学共通テスト	◎	○	
		総合問題	◎	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
	特別枠	調査書等	◎	○	○
		大学入学共通テスト	◎	○	
		総合問題	◎	○	
		面接（個人及び集団）	○	◎	◎
		自己推薦書		○	○
私費外国人留学生入試	-	日本留学試験	◎	◎	
		個別学力検査	○	○	
		面接（個人）	○	◎	◎
		出願書類		○	◎

## [保健医療学部]

### 求める学生像

札幌医科大学保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的に、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に基づく教育を行っています。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れます。

#### 【知識・技能】

1. 高等学校等の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している

#### 【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的に思考し、自分の言葉で表現できる
3. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物ごとをとらえることができる

#### 【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる
5. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる
6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる

### 入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
  - 1) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎学力  
保健・医療・福祉は人間を対象に社会の中で営まれる実践です。そのために、文化や自然、社会に関する偏りのない基礎知識が不可欠です。
  - 2) 人々との交流を深め、論理的に思考し表現するための基礎学力  
保健・医療・福祉の実践は人々との交流を基盤とします。また、物ごとを多面的に捉えて論理的に思考し、相手に伝えることのできる日本語の能力、国際的視野で考え行動するための外国語力が重要です。
2. 他者との連携・協働を必要とする課題に対し、誠実に取り組む姿勢  
保健・医療・福祉の実践はチームで取り組みます。他者と連携・協働して何かに取り組んだ経験は専門的実践を学ぶ上での力となります。
3. 自らの疑問を解決し、知識を深めるための学習習慣  
専門職には生涯にわたる自己研鑽が求められます。疑問を解決するために、また、知識を広げ深めるために、自ら進んで調べ学ぶ習慣を身につけておく必要があります。
4. 健康な生活を送るための基本的な生活習慣  
人々の健康と生活を守るためには、自分の健康に心がけ、しっかりとした基本的な生活習慣を身につけていることが不可欠です。

### 入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	◎	○	
	面接（個人）		◎	○
	面接（集団）		○	◎
	出願書類・調査書	◎	○	○
学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	◎	○	
	小論文	○	◎	○
	面接（個人）	○	◎	◎
	出願書類・志願理由書		○	◎
	出願書類・調査書	◎		
私費外国人 留学生入試	出願書類・推薦理由書	○	○	◎
	日本留学試験	○	◎	
	面接（個人）	◎	○	◎
	出願書類・履歴書	○		○
	出願書類・志願理由等 調査書		○	◎

# I 募集人員・日程等

## 1 募集人員

学部・学科		合計	一般選抜(前期日程)(注1、3)		学校推薦型選抜	
			一般枠	先進研修連携枠(ATOP-M)	先進研修連携枠(ATOP-M)	特別枠(注2)
医学部	医学科	110	20	55	20	15

※ATOP-M(エイトップ・エム) : Advanced education and training opportunities program for medical students  
 (注1) 一般選抜募集人員について:「先進研修連携枠(ATOP-M)」合格者が先に募集人員(55名)に達した場合、募集・選考状況により、他の合格者は「一般枠」と「先進研修連携枠(ATOP-M)」を合わせて20名となり、「一般枠」合格者が募集人員に満たない場合があります。

(注2) 学校推薦型選抜「特別枠」の募集人員については、北海道とともに文部科学省及び厚生労働省へ認可申請する予定である令和7年度医学部医学科入学定員の臨時増員(8名)が含まれており、現時点で確定している定員ではありません。なお、臨時増員が認められた場合は、令和7年度までの時限措置となります。

(注3) 一般選抜の募集人員は、「学校推薦型選抜」の合格者数によって、増える場合があります。

学部・学科		合計	一般選抜(前期日程)	学校推薦型選抜
保健医療学部	看護学科	50	40	10
	理学療法学科	20	16	4
	作業療法学科	20	16	4
	計	90	72	18

## 2 日程

### (1)出願受付日程

試験区分	医学部	保健医療学部
一般選抜(前期日程)	令和7年1月27日(月)～2月5日(水)※17:00必着	
学校推薦型選抜	令和6年11月18日(月)～11月22日(金)※17:00必着	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)※17:00必着

※ 各出願最終日の受付は、17:00 必着とします。

### (2)本学試験日程

試験区分	医学部	保健医療学部
一般選抜(前期日程)	令和7年2月25日(火) 令和7年2月26日(水)	令和7年2月25日(火)
学校推薦型選抜	令和7年2月1日(土)	令和6年11月23日(土)

### (3)合格発表日

試験区分	医学部	保健医療学部
一般選抜(前期日程)	令和7年3月10日(月)	
学校推薦型選抜	令和7年2月12日(水)	

※医学部学校推薦型選抜第1段階選抜合格発表:令和7年1月7日(火)

保健医療学部学校推薦型選抜第1次選考合格発表:令和6年12月4日(水)

## 3 学生募集要項の配布日

試験区分	医学部	保健医療学部
一般選抜(前期日程)	令和6年10月下旬(予定)	
学校推薦型選抜	令和6年10月下旬(予定)	令和6年9月下旬(予定)

## II 医学部 医学科 出願資格・選抜方法等

### 1 一般選抜

医学部では、顕在化している医師不足に対して、北海道が設立した医科大学として北海道内で医学・医療に従事する医師を養成するために、「先進研修連携枠(ATOP-M)」を設置しています。これにより一般選抜は2種類の出願枠となります。

#### (1) 出願資格

##### ア 一般枠

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト(以下「大学入学共通テスト」という。)において、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験した者**

- (ア) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (イ) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (ウ) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、同条第7号の規定により出願を希望する者は、事前に資格審査を受けなければならない。一般選抜の出願受付開始日の5日前までに資格審査を申請する必要があります。

なお、申請をする場合は、出願の2か月前までに、本学事務局学務課入試係にお問い合わせください。

##### イ 先進研修連携枠(ATOP-M)

上記「ア 一般枠」に加え、次に該当する者

- (ア) 医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修(以下「初期臨床研修」という。)を修了後、**所定のプログラム※(卒後の必修プログラム)に従事することを確約できる者**

##### ※「所定のプログラム」

卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する**国内外**の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

北海道の医学・医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。

いずれの出願枠も、出願者の出身地及び出身高等学校等所在地による制限はありません。

#### (2) 出願枠

##### ア 一般枠(募集人員 20名)

- (ア) 修学資金貸与制度はありません。

##### イ 先進研修連携枠(ATOP-M)(募集人員 55名)

- (ア) 修学資金貸与制度はありません。
- (イ) 出願時に、一般選抜の出願書類に加え、初期臨床研修修了後、**所定のプログラム(卒後の必修プログラム)に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書**を提出する必要があります。

なお、この確約書の提出がない場合は、「先進研修連携枠(ATOP-M)」での出願を受け付けません。

先進研修連携枠の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ウェブサイト(医学部入試枠・卒後必修プログラム <https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re830000000i8.html>)並びに大学案内冊子「LEAP」及び「北海道の医療を担う医師育成プログラム2024」を参照してください。





**(3) 出願方法**

出願時に「一般枠」及び「先進研修連携枠(ATOP-M)」のいずれかを選択して出願します。

**(4) 入学者の選抜方法**

次のとおり2段階に分けて行います。

**ア 第1段階選抜**

入学志願者が募集人員に対して本学が定める倍率を超えた場合、大学入学共通テストの成績により、原則として募集人員に以下の倍率を乗じた数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。

(第1段階選抜を実施する場合の倍率)

学科	募集人員	倍率
医学科	75名	5倍

(注) 第1段階選抜は、「一般枠」と「先進研修連携枠(ATOP-M)」を一括して行います。

**イ 第2段階選抜**

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

なお、調査書は面接の際の資料とします。

日程	一般枠・先進研修連携枠(ATOP-M)
前期日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入学共通テスト</li> <li>・ 第2次試験(個別学力検査・個人面接)</li> </ul>

(注1) 合格者は、総合点の高い順に決定します。

(注2) 一般選抜の募集人員は、「一般枠」と「先進研修連携枠(ATOP-M)」を合わせて75名です。

「先進研修連携枠(ATOP-M)」合格者が先に募集人員(55名)に達した場合、募集・選考状況により、他の合格者は「一般枠」と「先進研修連携枠(ATOP-M)」を合わせて20名となり、「一般枠」合格者が募集人員に満たない場合があります。

(注3) 一般選抜の募集人員は、「学校推薦型選抜」の合格者数によって、増える場合があります。

## (5) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

## ア 一般枠・先進研修連携枠(ATOP-M)(6出題教科8出題科目)

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史・ 公民	『歴史総合, 世界史探究』『歴史総合, 日本史探究』『地理総合, 地理探究』 『地理総合／歴史総合／公共(2出題 範囲を選択)』『公共, 倫理』『公共, 政 治・経済』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経 済』『旧倫理, 旧政治・経済』	左記の出題科目から1出題科目を選択(注1)
数学	『数学Ⅰ, 数学A』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	必須
	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』(注2)  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』(注3)	必須 左記の出題科目から1出題科目を選択(注3)
理科	『物理』『化学』『生物』	左記の3出題科目から2出題科目を選択
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	左記の5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします)
情報	『情報Ⅰ』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	必須

- (注1) 地理歴史・公民から2出題科目を受験している場合は、第1解答科目を合否判定の資料として用います。第1解答科目で本学が指定した科目を受験しなかった場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定した科目を受験した場合でも、地理歴史・公民を受験しなかったものとみなします。なお、地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。
- (注2) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列, 統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。
- (注3) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。

## (6) 第2次試験の実施教科・科目等

## ア 一般枠・先進研修連携枠(ATOP-M)

日程	教科	科目	科目等の選択方法
前期日程 (注5)	数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B」「数学C」(注1)	必須
	理 科	「物理」「物理基礎」(注2)	左記3種類の組み合わせから2種類 選択(必須)
		「化学」「化学基礎」(注3)	
	外 国 語	『英語』 「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」 「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」	必須
面 接 (個人)		必須	

(注1) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」は全範囲を出題範囲とします。

「数学B」は「数列」を出題範囲とします。

「数学C」は「ベクトル」「複素数平面」「平面上の曲線」を出題範囲とします。

(注2) 「物理」「物理基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注3) 「化学」「化学基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注4) 「生物」「生物基礎」は全範囲を出題範囲とします。

(注5) 数学・理科・外国語・面接の全てを受験しなかった者は、合格者にはなりません。なお、理科は2科目の受験が必要です。

## (7) 教科の配点

## ア 第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの教科の配点

## (ア) 一般枠・先進研修連携枠(ATOP-M)

学科	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	計
医 学 科	200	100	200	200	200※	100	1,000

※ 英語の場合、リーディング100点＋リスニング100点＝200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

## イ 第2段階選抜の配点

## (ア) 一般枠・先進研修連携枠(ATOP-M)

日程	試験区分	国語	地理 歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	計	総合点
前期 日程	大学入学 共通テスト	150	50	150	200	150	50	—	750	1,550
	第2次試験	—	—	200	200	200	—	200	800	

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

## 2 学校推薦型選抜

### (1) 出願資格

#### ア 先進研修連携枠(ATOP-M)

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者で、次のすべての要件に該当し、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者

なお、学校長が推薦できる人数は1つの高等学校又は中等教育学校につき3名以内とし、特別枠と重複して推薦を受けることはできません。

- (ア) 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評で㊤又はA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者
- (イ) 大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者**
- (ウ) 医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修(以下「初期臨床研修」という。)を修了後、**所定のプログラム※(卒後の必修プログラム)に従事することを確約できる者**
- (エ) **合格した際に入学を確約できる者**

#### ※ 「所定のプログラム」

卒業後、札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で初期臨床研修修了後、札幌医科大学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、札幌医科大学及び本学の卒後の必修プログラムに関連する**国内外**の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

北海道の医学・医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。

#### イ 特別枠

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和6年3月以降卒業又は令和7年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者(ただし、既卒者にあつては出願時の住所が北海道内・北海道外を問わない)で、次のすべての要件に該当し、卒業又は卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者

なお、学校長が推薦できる人数は1つの高等学校又は中等教育学校につき3名以内とし、先進研修連携枠(ATOP-M)と重複して推薦を受けることはできません。

- (ア) 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の学習成績概評で㊤又はA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者
- (イ) 大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者**
- (ウ) **本学を卒業後、北海道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を北海道知事が指定する公的医療機関等で勤務することを確約するとともに、修学資金制度の内容を承知している者**
- (エ) **合格した際に入学を確約できる者**

### (2) 出願枠

先進研修連携枠(ATOP-M)と特別枠の併願はできません。どちらか一方への専願となります。

#### ア 先進研修連携枠(ATOP-M)(募集人員 20名)

(ア) 出願に当たっては、初期臨床研修修了後、**所定のプログラム(卒後の必修プログラム)に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書**並びに卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。

(イ) 修学資金貸与制度はありません。

(ウ) 先進研修連携枠の趣旨と要件、入学後から卒後のキャリア形成については、本学ウェブサイト(医学部入試枠・卒後必修プログラム <https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000i8.html>)並びに大学案内冊子「LEAP」及び「北海道の医療を担う医師育成プログラム 2024」を参照してください。



**イ 特別枠(募集人員 15名<sup>(注1)</sup>)**

(ア) 出願に当たっては、入学志願者からの自己推薦書、**卒業後一定期間北海道の地域医療に従事する旨の入学志願者及びその保護者による確約書(注2)**並びに卒業又は卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。

(イ) 特別枠の入学者全員を対象として北海道医師養成確保修学資金(大学の入学料及び授業料に相当する額並びに月額12万円)が北海道から貸与されます。

(ウ) 勤務先の医療機関の範囲、制度からの離脱、その他制度の概要や事務手続きに関する問い合わせ先は次のとおりです。

また、北海道のウェブサイト公開している「北海道医師養成確保修学資金貸付制度の手引き」で内容を確認できますので、ご参照ください。

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 電話:011-204-5214(直通)

掲載場所: <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/ishikakuho/tiikiwaku.html>



なお、入学に当たっては、北海道知事に対し、北海道医師養成確保修学資金貸付条例に規定する必要勤務期間、知事が指定する公的医療機関において医師として従事する旨の誓約書の提出が求められます。

(注1) 学校推薦型選抜「特別枠」の募集人員については、北海道とともに文部科学省及び厚生労働省へ認可申請する予定である令和7年度医学部医学科入学定員の臨時増員(8名)が含まれており、現時点で確定している定員ではありません。なお、臨時増員が認められた場合は、令和7年度までの時限措置となります。

(注2) **修学資金の貸与に当たっては、本学を卒業後、北海道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち北海道医師養成確保修学資金貸付条例の規定に基づく5年以上の期間を北海道知事が指定する公的医療機関等で勤務することが義務づけられており、出願時には札幌医科大学長に対し、確約書の提出が必要です。**

**(3) 出願方法等**

ア 先進研修連携枠(ATOP-M)と特別枠の併願はできません。

イ 学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。

**(4) 入学者の選抜方法****ア 先進研修連携枠(ATOP-M)**

次のとおり2段階に分けて行います。

区分	選抜方法
第1段階選抜	入学志願者が募集人員の3倍を超えた場合、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書及び推薦理由書の内容に基づいて、原則として募集人員の3倍の数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。
第2段階選抜	次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。 なお、推薦理由書及び調査書は面接の際の資料とします。 ・ 大学入学共通テスト ・ 第2次試験(総合問題・個人面接)



## イ 特別枠

次のとおり2段階に分けて行います。

区分	選抜方法
第1段階選抜	入学志願者が募集人員の3倍を超えた場合、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書、推薦理由書及び自己推薦書の内容に基づいて、原則として募集人員の3倍の数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。
第2段階選抜	次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。 なお、推薦理由書及び調査書は面接の際の資料とします。 ・ 大学入学共通テスト ・ 第2次試験(総合問題・個人及び集団面接・自己推薦書)

## (5) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

## ア 先進研修連携枠(ATOP-M)・特別枠(6出題教科8出題科目)

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史 ・公民	『歴史総合, 世界史探究』『歴史総合, 日本史探究』『地理総合, 地理探究』 『地理総合/歴史総合/公共(2出題 範囲を選択)』『公共, 倫理』『公共, 政 治・経済』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経 済』『旧倫理, 旧政治・経済』	左記の出題科目から1出題科目を選択(注1)
数学	『数学Ⅰ, 数学A』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	必須
	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』(注2)  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』	必須
理科	『物理』『化学』『生物』	左記の3出題科目から2出題科目を選択
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	左記5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします)
情報	『情報Ⅰ』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	必須

(注1) 地理歴史・公民から2出題科目を受験している場合は、第1解答科目を合否判定の資料として用います。第1解答科目で本学が指定した科目を受験しなかった場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定した科目を受験した場合でも、地理歴史・公民を受験しなかったものとみなします。なお、地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに従います。

(注2) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内

容(数列, 統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

## (6) 第2次試験の実施教科・科目等

## ア 先進研修連携枠(ATOP-M)・特別枠

教科・科目等	科目等の選択方法
総合問題	必須
面接(個人)(注)	必須

(注) 総合問題を受験しなかった者は、面接を受験できません。

## (7) 教科の配点

## ア 先進研修連携枠(ATOP-M)

教科	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	計
大学入学 共通テスト	200	100	200	200	200※	100	1,000

※ 英語の場合、リーディング100点+リスニング100点=200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

教科	総合問題	面接(個人)	大学入学 共通テスト	計
第2次試験	400	400	400※	1,200

※ 大学入学共通テストは、総配点を400点に換算する。

(注) 大学入学共通テストの成績が、総配点1,000点中775点以上の者を入学候補者として選考の対象とします。

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第2次試験の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

## イ 特別枠

教科	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	計
大学入学 共通テスト	200	100	200	200	200※	100	1,000

※ 英語の場合、リーディング100点+リスニング100点=200点

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

教科	総合問題	面接 (個人及び集団)	自己 推薦書	大学入学 共通テスト	計
第2次試験	400	400	100	400※	1,300

※ 大学入学共通テストは、総配点を400点に換算する。

(注) 大学入学共通テストの成績が、総配点1,000点中775点以上の者を入学候補者として選考の対象とします。

ただし、大学入学共通テストの平均点が例年を大きく下回ることなどにより、上記による選考の結果、合格者数が令和7年度医学部医学科入学定員の臨時増員(8名)に満たない場合にあっては、第2次試験の成績が上位の者から臨時増員数の範囲内で選抜することを考慮します。

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第2次試験の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

### Ⅲ 保健医療学部 看護学科 出願資格・選抜方法等

#### 1 一般選抜(募集人員 40名)

##### (1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験した者**

- ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、同条第7号の規定により出願を希望する者は、事前に資格審査を受けなければならない、一般選抜の出願受付開始日の5日前までに資格審査を申請する必要があります。

なお、申請をする場合は、出願の2か月前までに、本学事務局学務課入試係にお問い合わせください。

##### (2) 入学者の選抜方法

次のとおり2段階に分けて行います。

###### ア 第1段階選抜

入学志願者が募集人員に対して本学が定める倍率を超えた場合、大学入学共通テストの成績により、原則として募集人員に以下の倍率を乗じた数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。

(第1段階選抜を実施する場合の倍率)

学科	募集人員	倍率
看護学科	40名	3倍

###### イ 第2段階選抜

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

なお、調査書は面接の際の資料とします。

日程	看護学科
前期日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入学共通テスト</li> <li>・ 第2次試験(個人及び集団面接)</li> </ul>



## (3) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

## ア 看護学科 6出題教科8出題科目

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法	
国語	『国語』	必須	
数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ, 数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』	左記2出題科目から1出題科目を選択	
	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』(注2)	必須 旧教育課程履修者は左記4出題科目から1出題科目を選択	
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	左記5出題科目から1出題科目選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします)	
地理歴史・公民(注3)	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選択)』『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理, 旧政治・経済』(注4)	左記6出題科目から1出題科目選択  旧教育課程履修者は左記7出題科目から1出題科目を選択可	左記6出題科目から2出題科目選択(注5)  旧教育課程履修者は左記7出題科目から最大2出題科目を選択可
理科(注3)	『物理』『化学』『生物』	左記3出題科目から2出題科目選択	左記3出題科目から1出題科目選択 (同一科目名を含む選択不可)
	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(2出題範囲を選択)』(注6)		左記出題範囲から2出題範囲を選択(同一科目名を含む選択不可)
情報	『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	必須	

(注1) 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列, 統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

【保健医療学部 看護学科 一般選抜】

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、第1解答科目の点数を優先して合否判定に用います。なお、理科の第1解答科目で本学が指定しない出題科目を選択した場合は、第2解答科目で本学が指定した出題科目を選択しても、理科を受験しなかったものとみなします。

(注4) 旧課程履修者に対する措置として「旧」のつく、地理歴史・公民を2出題科目選択する場合同一科目名を含む選択はできません。

(注5) 地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに従います。

(注6) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。

(4) 第2次試験の実施教科・科目等

日程	教科・科目等	科目等の選択方法
前期日程	面接(個人及び集団)	必須

(注) 面接を受験しなかった者は、合格者にはなりません。

(5) 第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの教科の配点

学科	国語	地理歴史 ・公民		理科	数学	外国語	情報	計
看護学科	200	100	100	100	200	200※	100	1,000

※ 英語の場合、リーディング100点＋リスニング100点＝200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

(6) 第2段階選抜に用いる配点

日程	試験区分	国語	地理 歴史 ・公民		理科	数学	外国語	情報	面接 (個人及び 集団)	計	総合点
前期 日程	大学入学 共通テスト	180	90	90	90	180	180	90	—	900	1,100
	第2次 試験	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

## 2 学校推薦型選抜(募集人員 10名)

### (1) 出願資格

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者で、次のすべての要件に該当し、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者

なお、学校長が推薦できる人数は、1つの高等学校又は中等教育学校につき**2名以内**とします。

ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の評定平均値で4.0以上の者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、保健医療の分野において社会に貢献する意欲のある者

イ 令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者**

ウ **合格した際に入学を確約できる者**

### (2) 出願方法等

ア 出願に当たっては、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。

イ 学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。

ウ 入学後4年間の教育カリキュラムは一般選抜による入学者と同様です。

エ 保健医療学部には、修学資金貸与制度はありません。

### (3) 入学者の選抜方法

次のとおり行います。

区分	選抜方法
第1次選考	小論文及び面接により募集人員数を合格とします。 なお、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書、推薦理由書及び志願理由書は、面接の際の資料とします。
第2次選考	第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストの合計点が全国平均点以上である者を合格者とします。

### (4) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

#### ア 看護学科 3出題教科3出題科目

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法
国語	『国語』	必須
地理歴史・公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』  (旧教育課程履修者に対する措置) 「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」	左記の14出題科目から1出題科目を選択 (注3)  旧教育課程履修者は左記15出題科目から1出題科目を選択可
	『地理総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選択)』『公共、倫理』『公共、政治・経済』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』	

数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ，数学B，数学C』（注1）  (旧教育課程履修者に対する措置) 「旧数学Ⅰ」『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅱ・旧数学B』	
理科	『物理』『化学』『生物』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（2出題範囲を選択）』（注2）	
情報	『情報Ⅰ』  (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	
外国語	『英語』	
		必須（リスニングの成績も判定の対象とします）（注4）

(注1) 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列，統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。

(注3) 指定した出題科目数以上受験した場合は、得点から全国平均点を差し引いた値が最も大きい科目を合否判定に用います。ただし、地理歴史・公民及び理科は第1解答科目を用います。

(注4) 『英語』は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。ただし、リスニング受験免除者はリーディングの点数のみを英語の成績として利用します。

## (5) 本学試験(第1次選考)の実施教科・科目等

### ア 第1次選考

教科・科目等	科目等の選択方法
小 論 文	必須
面 接 ( 個 人 )	必須

(注) 小論文を受験しなかった者は、面接を受験できません。

## (6) 教科の配点

教科	小論文	面接(個人)	計
第 1 次 選 考	100	100	200
第 2 次 選 考	大学入学共通テストの成績については、第2次選考の判定にのみ用いる。		

(注1) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第1次選考の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

(注2) 第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目の合計点が全国平均点以上である者を第2次選考の合格者とします。

**IV 保健医療学部 理学療法学科・作業療法学科 出願資格・選抜方法等****1 一般選抜(募集人員 学科毎に16名)****(1) 出願資格**

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験した者**

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、同条第7号の規定により出願を希望する者は、事前に資格審査を受けなければならない、一般選抜の出願受付開始日の5日前までに資格審査を申請する必要があります。

なお、申請をする場合は、出願の2か月前までに、本学事務局学務課入試係にお問い合わせください。

**(2) 入学者の選抜方法**

次のとおり2段階に分けて行います。

**ア 第1段階選抜**

入学志願者が募集人員に対して本学が定める倍率を超えた場合、大学入学共通テストの成績により、原則として各学科の募集人員に以下の倍率を乗じた数の入学志願者を第1段階選抜の合格者とします。

(第1段階選抜を実施する場合の倍率)

学科	募集人員	倍率
理学療法学科	16名	3倍
作業療法学科	16名	3倍

**イ 第2段階選抜**

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

なお、調査書は面接の際の資料とします。

日程	理学療法学科・作業療法学科
前期日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト</li> <li>第2次試験(個人及び集団面接)</li> </ul>

## (3) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

## ア 理学療法学科 6出題教科8出題科目

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法	
国語	『国語』	必須	
数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ，数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』	左記2出題科目から1出題科目を選択	
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	必須 旧教育課程履修者は左記4出題科目から1出題科目を選択可(注2)	
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	左記5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします)	
地理歴史・公民 (注3)	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選択)』『公共，倫理』『公共，政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理，旧政治・経済』	左記6出題科目から1出題科目を選択 旧教育課程履修者は左記7出題科目から1出題科目を選択可	
理科 (注3)	『物理』『化学』『生物』	左記3出題科目から2出題科目を選択	左記3出題科目から1出題科目を選択(同一科目名を含む選択不可)
	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(2出題範囲を選択)』 (注4)		左記出題範囲から2出題範囲を選択(同一科目名を含む選択不可)
情報	『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	必須	

(注1) 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容(数列，統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、第1解答科目を優先して可否判定に用います。

(注4) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。



## イ 作業療法学科 6出題教科8出題科目

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法	
国語	『国語』	必須	
数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ，数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』から1出題科目を選択	左記2出題科目から1出題科目を選択	
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注1) (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1出題科目を選択(注2)	必須	
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	左記5出題科目から1出題科目を選択 (英語はリスニングの成績も判定の対象とします)	
地理歴史・ 公民 (注3)	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共(2出題範囲を選択)』『公共，倫理』『公共，政治・経済』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理，旧政治・経済』(注4)	左記6出題科目から1出題科目を選択	左記6出題科目から2出題科目を選択(注5)
		旧教育課程履修者は左記7出題科目から1出題科目を選択可	旧教育課程履修者は左記7出題科目から2出題科目を選択可
理科 (注3)	『物理』『化学』『生物』	左記3出題科目から2出題科目を選択	左記3出題科目から1出題科目を選択(注6)
	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(2出題範囲を選択)』 (注7)		左記出題範囲から2出題範囲を選択(同一科目名を含む選択不可)(注8)
情報	『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	必須	

(注1) 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち「数学B」及び「数学C」は「数学B」の2項目の内容(数列，統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

(注2) 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択することができる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの出題科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了者に限ります。

(注3) 地理歴史・公民及び理科において指定した出題科目数以上受験した場合は、本学が認めている出題科目の組み合わせのうち、得点の高い出題科目を合否判定に用います。ただし、第1解答科目を優

先します。

- (注4) 旧課程履修者に対する措置として「旧」のつく、地理歴史・公民を2出題科目選択する場合は同一科目名を含む選択はできません。
- (注5) 地理歴史・公民における2出題科目の選択方法は、文部科学省の定めに倣います。
- (注6) 理科の第1解答科目で本学が指定しない出題科目を選択した場合、第2解答科目で本学が指定した出題科目を選択しても、理科を受験しなかったものとみなします。
- (注7) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については地学基礎を除いた3出題範囲中2出題範囲を選択解答してください。
- (注8) 理科の第1解答科目で「基礎を付す理科」を選択した場合は、理科の第1解答科目、理科の第2解答科目(基礎を付さない理科)及び地理歴史・公民の第1解答科目を合否判定に用います。

#### (4) 第2次試験の実施教科・科目等

日程	教科・科目等	科目等の選択方法
前 期 日 程	面接(個人及び集団)	必須

(注) 面接を受験しなかった者は、合格者にはなりません。

#### (5) 教科の配点

##### ア 第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの教科の配点

学科	国語	地理歴史・ 公民	理科	数学	外国語	情報	計
理学療法学科	200	100	200	200	200※	100	1,000
作業療法学科	200	100	100	100	200	200※	1,000

※ 英語の場合は、リーディング100点+リスニング100点=200点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を2倍します。

#### (6) 第2段階選抜に用いる配点

##### ア 理学療法学科

日程	試験区分	国語	地理 歴史 ・公民	理科	数学	外国語	情報	面接 (個人及 び集団)	計	総合点
前期 日程	大学入学 共通テスト	180	90	180	180	180	90	—	900	1,100
	第2次試験	—	—	—	—	—	—	200	200	

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

##### イ 作業療法学科

日程	試験区分	国語	地理 歴史 ・公民	理科	数学	外国語	情報	面接 (個人及 び集団)	計	総合点	
前期 日程	大学入学 共通テスト	180	90	90	90	180	180	90	—	900	1,100
	第2次試験	—	—	—	—	—	—	—	200	200	

(注) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、総合点の成績に関わらず、不合格になる場合があります。



## 2 学校推薦型選抜(募集人員 学科毎に4名)

### (1) 出願資格

北海道内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者のうち、最終学年を含む3年以上継続して北海道内に在住する者で、次のすべての要件に該当し、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長が推薦する者

なお、学校長が推薦できる人数は、1つの高等学校又は中等教育学校につき1学科1名とします。

ア 高等学校又は中等教育学校における調査書の成績が、全体の評定平均値で4.0以上の者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、保健医療の分野において社会に貢献する意欲のある者

イ 令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学が指定した出題教科・科目をすべて受験する者**

ウ **合格した際に入学を確約できる者**

### (2) 出願方法等

ア 出願に当たっては、卒業見込みの高等学校又は中等教育学校の学校長から推薦書、推薦理由書等の提出が必要です。

イ 学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願しなければなりません。

ウ 入学後4年間の教育カリキュラムは一般選抜による入学者と同様です。

エ 保健医療学部には、修学資金貸与制度はありません。

### (3) 入学者の選抜方法

次のとおり行います。

区分	選抜方法
第1次選考	小論文及び面接により募集人員数を合格とします。 なお、高等学校長又は中等教育学校長から提出された調査書、推薦理由書及び志願理由書は、面接の際の資料とします。
第2次選考	第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストの合計点が全国平均点以上である者を合格者とします。

### (4) 大学入学共通テストの受験を要する出題教科・科目等

ア 理学療法学科 2～3出題教科3出題科目、作業療法学科 3出題教科3出題科目

出題教科	出題科目	出題科目等の選択方法	
		理学療法学科	作業療法学科
国語	『国語』	左記6出題科目から2出題科目を選択(注1)	必須
数学	『数学I』『数学I・数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学I』『旧数学I・旧数学A』		左記2出題科目から1出題科目選択
理科	『物理』『化学』『生物』		
外国語	『英語』(リスニングの成績も判定の対象とします)	必須(注2)	必須(注2)

(注1) 指定した出題科目数以上受験した場合は、国語、数学及び理科の解答科目のうち、得点から全国平均点を差引いた値が最も大きい出題科目を合否判定に用います。ただし、理科は第1解答科目を優先します。

(注2) 『英語』は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。ただし、リスニング受験免除者はリーディングの点数のみを英語の成績として利用します。

(5) 本学試験(第1次選考)の実施教科・科目等

ア 第1次選考

教科・科目等	科目等の選択方法
小論文	必須
面接(個人)	必須

(注) 小論文を受験しなかった者は、面接を受験できません。

(6) 教科の配点

教科	小論文	面接(個人)	計
第1次選考	100	100	200
第2次選考	大学入学共通テストの成績については、第2次選考の判定にのみ用いる。		

(注1) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、第1次選考の成績に関わらず、不合格になる場合があります。

(注2) 第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目の合計点が全国平均点以上である者を第2次選考の合格者とします。

## V 学生募集要項の請求先及び請求方法

### 1 本学で配布(学校推薦型選抜学生募集要項を除く。)

- 「I 募集人員・日程等(p5)」記載の配布日から出願受付終了日までの間、次により配布します。
- ・ 事務局学務課入試係 8:45～17:30(土・日・祝日を除く。)
  - ・ 基礎医学研究棟警備室(24時間(毎日))

### 2 テレメールから請求(学校推薦型選抜学生募集要項を除く。) 資料請求はこちら(資料請求番号の入力不要) ▼

<https://telemail.jp> にアクセスし、ガイダンスに従ってご請求ください。



資料名	資料請求番号	料金(送料含・後納)	発送開始日
大学案内のみ	560102	250円	6月中旬(予定)
一般選抜学生募集要項のみ	580102	250円	11月上旬(予定)
大学案内+一般選抜学生募集要項	540102	310円	11月上旬(予定)

- ・ 料金は資料の重量や発送方法により変更となる場合があります。

- 「テレメール」についてのお問い合わせ先  
 テレメールカスタマーセンター  
 IP電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)

### 3 大学情報センター「モバっちょ」へ請求(学校推薦型選抜学生募集要項を除く。)

<https://djcm-bj.jp/sapmed/> にアクセスし、ご請求ください。



資料名	料金(送料含)	発送開始日
大学案内のみ	250円	6月中旬(予定)
一般選抜学生募集要項のみ	250円	11月上旬(予定)
大学案内+一般選抜学生募集要項	350円	11月上旬(予定)

- ・ 料金に変更となる場合があります。

- 「モバっちょ」についてのお問い合わせ先  
 大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター  
 TEL 050-3540-5005(平日10:00～18:00)

### 4 卒業又は卒業見込みの高等学校等で配布

学校推薦型選抜学生募集要項については、卒業又は卒業見込みの高等学校等を経由した配布となります。

## VI 私費外国人留学生入試

### 1 募集人員

医 学 部 若干名  
保健医療学部 若干名

### 2 出願資格

次のすべての事項に該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者(日本国の永住許可を得ている者は含まない。)
- (2) 次の各号のいずれかに該当する者
  - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者(外国の学校において、最終学年を含む2年以上継続して在学したこと)
  - イ アに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
  - ウ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格または、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格のいずれかを取得した者
- (3) 留学生の学費と一身上の責任を負うことの出来る、日本国内に居住している身元保証人を有する者
- (4) 独立行政法人日本学生支援機構が実施している日本留学試験のうち、2023(令和5)年6月～2024(令和6)年11月実施分)を受験し、次の別表の要件に該当する者  
なお、出題言語(日本語又は英語)は、自由選択とします。

(別表)

学部・学科		日本留学試験の受験科目		
医学部	医 学 科	日本語 読解、聴解・聴読解(記述含む) 360点以上	数学 (コース2)	理科(2科目自由選択)
			基礎科目合計320点以上	
保健医療学部	看 護 学 科	日本語 読解、聴解・聴読解(記述含む) 360点以上	数学(コース1 又はコース2)	理科(2科目自由選択)
	理学療法学科		基礎科目合計280点以上	
	作業療法学科			

(不明な点があれば、本学事務局学務課入試係に問い合わせしてください。なお、問い合わせは日本語で行ってください。)

### 3 入学者の選抜方法

次の項目の成績及び結果を総合して合格者を決定します。

学部	選抜方法
医 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本留学試験の成績</li> <li>・ 本学医学部が行う一般選抜(前期日程)の第2次試験(個別学力検査・個人面接)</li> <li>・ 出願書類の審査</li> </ul>
保 健 医 療 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本留学試験の成績</li> <li>・ 個人面接</li> <li>・ 出願書類の審査</li> </ul>

(注1) 個別学力検査の出題言語は日本語です。個人面接は日本語で行います。

(注2) 面接等により医療人となるための適性を欠くと判断された場合は、成績に関わらず、不合格になる場合があります。

## 4 日程

項目	医学部・保健医療学部
学生募集要項配布開始	令和6年10月下旬(予定)
出願日	令和7年1月20日(月)～1月27日(月) ※出願最終日の受付は17:00必着とします
試験日	令和7年2月25日(火)
合格発表日	令和7年3月10日(月)

## 5 学生募集要項の請求先及び請求方法

## (1) 本学で配布

上記の学生募集要項配布開始日から出願受付終了日までの間、次により配布します。

・事務局学務課入試係 8:45～17:30(土・日・祝日を除く。)

## (2) 郵便による請求

請求用封筒の表に「私費外国人留学生入試 学生募集要項請求」と出願する学部、学科を朱書き、返信用封筒同封の上、請求してください。また、大学案内も希望する場合は、「大学案内請求」と、併記してください。

返信用封筒は、

・角形2号(A4判の冊子が折らずに入る大きさ)とし、表面に請求者の住所、氏名、郵便番号を明記してください。

・返信先が日本国内の場合は、学生募集要項のみの場合は**定形外郵便物100g相当**の郵便切手を、大学案内も希望の場合は**定形外郵便物500g相当**の郵便切手を貼ってください。

・返信先が日本国外の場合は、**航空便500g料金相当の国際返信切手券を同封**してください。

(請求先)〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学事務局学務課入試係

## VII 入試問題の過去問題の活用

### 1 入試過去問題の活用について

ア 本学は、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

イ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

ウ 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

## VIII 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談

### 1 事前相談について

本学への入学志願者で、次表に該当する場合(学校教育法施行令第22条の3に準拠)は、受験上及び修学上の配慮が必要となることがありますので、下記に示す期日までに必ず本学事務局学務課入試係に電話等でご連絡のうえ、「身体等に障がいのある入学志願者の受験上の配慮申請書」を提出してください。

申請書様式は本学ウェブサイトの入学者選抜要項掲載ページからダウンロードしてください。

URL <https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re830000000eh.html>



必要に応じ、本学において、原則入学志願者及び保護者、又はその立場を代弁しうる者等との面談を行います。

- |   |   |
|---|---|
| ア | 両眼の矯正視力が0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 |
| イ | 両耳の聴力レベルが60デシベル以上の者のうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度の者                   |
| ウ | 肢体(上肢・体幹・下肢)不自由の状態により、立位もしくは座位の保持又は歩行することが不可能又は困難な者                               |
| エ | 肢体(上肢・体幹・下肢)不自由の状態により、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な者                                    |
| オ | 慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者                                 |
| カ | 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度の者  |
| キ | 上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者  |

### 2 問い合わせ・申請書提出先

札幌医科大学事務局学務課入試係 電話011-611-2111(内線21830・21840)  
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

### 3 配慮申請の提出期日

学部	入試区分	配慮申請の提出期日
医学部	学校推薦型選抜	令和6年10月17日(木)
	一般選抜(前期日程)	令和6年12月16日(月)
	私費外国人留学生入試	
保健医療学部	学校推薦型選抜	令和6年9月30日(月)
	一般選抜(前期日程)	令和6年12月16日(月)
	私費外国人留学生入試	

- ※1 申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。  
内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ※2 申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに上記問い合わせ先までご連絡ください。
- ※3 申請後に本学へ出願しないこととなった場合、または、出願後に受験を取り止めた場合には、その旨速やかにご連絡ください。

【様式】

提出日： 年 月 日

## 身体等に障がいのある入学志願者の受験上の配慮申請書

フリガナ 氏 名	性別	男・女・無回答
	生年月日	年 月 日
※代理人申請の場合 フリガナ 氏 名 (関係： )		
住所 〒		
連絡先 電話番号： E-mail：		
出身学校名等	卒業年月日 年 月 日 卒業・卒業見込	
志望学部 <input type="checkbox"/> 医学部 学校推薦型選抜（先進研修連携枠 特別枠） 一般選抜（先進研修連携枠 一般枠） <input type="checkbox"/> 保健医療学部 学校推薦型選抜 一般選抜		
申請理由		
受験上の配慮を希望する事項		
修学上の配慮を希望する事項		
高等学校等での修学上の配慮事項等		
日常生活の状況		

## 【提出書類】

- ・ 当該年度の大学入学共通テストの受験上配慮事項決定通知書若しくは申請書類の写し
- ・ 医師の診断書（必要な場合）
- ・ 障害者手帳の写し（必要な場合）

掲載場所 <https://web.sapmed.ac.jp/jp/public/exam/10re8300000000eh.html>







**問い合わせ先**

**〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目**

**札幌医科大学事務局学務課入試係**

**電話 011-611-2111(内線21830・21840)**

**\* 8:45~17:30(土・日・祝日を除く。)**

**\* 問い合わせは、やむを得ない場合を除き入学志願者本人が行ってください。**